

■ ■ ■ ■ 予防課からのお知らせ ■ ■ ■ ■

～消防に関心がある方はご参加を～  
少年消防クラブ員を募集します

☎(231)0968

- ▶対象 市内在住の現小学3年生～中学2年生の男女
- ▶定員 50人程度
- ▶活動期間 4月1日(日)～平成25年3月31日(日)  
※原則(土)(日)祝のいずれかで、月1回程度の活動
- ▶活動内容 消防施設や資機材を活用した消防活動の体験や、防火・防災に関する知識などの習得をはじめ、市の行事などへの参加など。
- ▶申し込み 1月31日(火)までに、所定の申込用紙に必要事項を記入し、〒243-0411大谷816 予防課へ郵送または持参してください。  
※申込用紙は、消防本部・北分署・南分署で配布。また、市ホームページからダウンロードできます。  
※申し込み後、2月4日(土)に詳細についての説明会を予定しています。

防災講演会を開催します  
「東日本大震災を体験して」

☎(231)0394

東日本大震災で被災し、現在宮城県名取市の仮設住宅で生活している高橋善夫自治会長を招き、「3月11日の行動など」「避難所での生活について」「仮設住宅入居後の生活について」などのお話を伺います。入場は無料です。地域での防災対策や、防災意識を高める機会として、ぜひご来場ください。

- ▶日時 1月28日(土)9時30分～11時30分
- ▶会場 文化会館小ホール
- ▶対象 市内在住・在勤の方
- ▶定員 80人程度(定員になり次第締め切り)
- ▶主催 市、自治会連絡協議会
- ▶申し込み 1月4日(水)から、住所・氏名・年齢・電話番号を、直接または電話で予防課へ。

災害時の救助資機材の提供に  
関する協定を締結しました

☎(231)0394

「株式会社オグラ(小倉重治代表・海老名市本郷)」と災害協定を締結しました。この協定は、地震などの災害発生時に、同社が所有する各種救助資機材の提供を受けられるものです。これにより、救助資機材が不足した場合でも迅速な救援活動が可能になります。

ことしは、  
少年消防クラブも  
演技を披露します



▲可搬ポンプ  
この可搬ポンプは、平成23年に、(財)神奈川県消防協会から寄贈されたものです。

ことしの出初式では、昨年4月に発足した「少年消防クラブ」のクラブ員たちが、可搬ポンプの操法を披露します。将来の地域防災を担うクラブ員たちが、日ごろの訓練の成果を頑張って演技しますので、温かい応援をよろしくお願ひします。

※少年消防クラブは、「宝くじの助成金」で活動服などの一部を整備し、活発な活動をしています。



新春の風物詩「消防出初式」を、ことしも市役所西側広場で開催します。

当日は、消防職員・団員、女性防火推進員、市内事業所の自衛消防隊員による、さまざまな消防演技のほか、長年消防活動に貢献した消防団員の表彰も行います。

また、イベント最後に行われる消防団による一斉放水は、たくさん水のホースから多くの水が空高く放たれ迫力満点です。

ことし一年の防火の誓いを新たにするイベントに、ぜひご家族そろってお越しください。

1月8日(日) 9時30分  
新春恒例「消防出初式」を開催します

☎消防総務課 ☎(231)0355

※午前8時に市内消防分団器具置場のサイレンを鳴らしますので、火災と間違えないようご注意ください。なお、雨天時は中止となります。



消防ポンプ自動車を  
宮城県名取市に寄贈

☎消防総務課 ☎(231)0921

12月12日、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県名取市に、消防ポンプ自動車1台を寄贈しました。



▲左から2番目が桑山氏。中央が佐々木名取市長

ポンプ車の寄贈は、ことし6月に開催した「地球のステージ」震災特別編」に出演した医師、桑山紀彦氏が両市の橋渡しとなり、実現したものです。

公演中、桑山氏が被災地の現状や消防職員の殉職・消防車両の被災など、同市の被害状況を伝え、後日、桑山氏を通じて内野市長が名取市長を訪ね、消防力の補完に役立てて欲しいとポンプ車提供を提案し、寄贈が決まりました。

なお、このポンプ車は大気汚染防止法(NOX・PM法)に基づく自動車排出ガス規制により、市内で使用ができません。なつたものです。



▲被災状況を伝える様子